



成果指標				
成果指標	BOD除去率(%)=(流入水BOD値-処理水BOD値)÷流入水BOD値×100及び汚水処理コスト(円/m3)			
指標設定の考え方	安定した放流水質(BOD除去率90%以上)を確保するとともに、汚水処理コスト(汚水m3当たり)を年度比較し、処理能力を最大限に発揮できるよう施設の効率的な運営(維持管理)に努める。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	目標26年度
目標	90%以上	90%以上	0	0
実績	98.8%(200円/m3)	99.1%(193円/m3)	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	施設の運転管理について、包括的民間委託等の委託の方法を検討し、さらにコスト削減を図りたい。また、不明水の調査も引き続き行いたい。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	施設の適正な維持管理を継続していく上で、最適化整備構想の策定に向けて施設の機能診断調査を実施したところであり、策定後は機器等の長寿命化を図ることにより、ライフサイクルの最小化及び機能保全計画を基に予算の平準化が行える。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題